

新型コロナウイルス対応緊急支援助成について（概要）



新型コロナウイルスの感染拡大により、休眠預金等活用制度の対象となる3つの分野（①子ども及び若者の支援に係る活動、②日常生活又は社会生活を営む上での困難を有する者の支援に係る活動並びに③地域社会における活力の低下その他の社会的に困難な状況に直面している地域の支援に係る活動）で生じている新たな支援のニーズに対応するため、休眠預金等活用法に基づく2020年度資金分配団体の公募に加え、**総額50億円の助成事業**を行います。

1. 新型コロナウイルス対応緊急支援助成の公募の概要（総額40億円）

◆助成額 総額40億円

※資金分配団体および1実行団体あたりの助成額は、選定申請団体が申請する事業計画・資金計画等の内容を総合的に勘案し決定

◆助成期間（実行団体の事業実施期間）は**1年間を超えないもの**とします

◆本緊急支援助成の資金分配団体公募は2020年度を通じて**複数回実施予定**

※2回目以降の実施については公募受付状況やJANPIAから資金分配団体への助成実施状況、および新型コロナウイルスが社会全体に及ぼす影響により変化する支援ニーズ等を踏まえ決定

◆管理的経費は**実行団体においては助成額の20%を上限とします**（資金分配団体においては、助成額の15%を上限）

◆本助成については資金分配団体・実行団体ともに、**自己資金20%の確保は求めません**

◆評価実施は中間評価は実施しないなど、事業の特性を踏まえた実効性のある内容とします
※詳細を別途公開予定です

緊急支援という事業の特性を踏まえて、申請時の応募団体の負担を軽減するなど、スピードを重視した申請・選定の仕組みとしています。

2. 2019年度資金分配団体向け緊急支援助成概要（総額10億円）

◆2019年度に採択された資金分配団体において、コロナ禍の影響により現在の事業計画を見直し、活動の量や要する費用の変更により事業費の増額が必要となる場合等に対応する緊急支援助成（総額10億円）を実施します。

3. 公募スケジュール

資金分配団体公募の流れ

5月25日	公募開始
6月12日	申請締め切り
6月末	審査・資金分配団体内定
7月上旬	資金分配団体決定
7月上旬 ～下旬	契約締結・助成金交付

資金分配団体による実行団体公募の流れ

7月上旬 ～下旬	実行団体の公募・選定
7月下旬 ～8月上旬	実行団体への助成金交付
7月下旬 ～8月上旬	実行団体による助成事業開始